

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 14 日 (15 : 00 ~16 : 00)

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?		1	6	4	11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?		10	1		11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	1	9	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	1	6	4		11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・職員個々が、ケース記録や連絡ノートなどを確認し、情報収集を行なっている。
- ・利用当初は特に不安が大きいと思うので、積極的にコミュニケーションをとるなど関わりを持つように心がけ、本人・家族の思いを感じ取れるように努めている。
- ・送迎や訪問など一対一の場面で困ったことを聞いたり、家族に利用中の様子をこまめに伝える中で家族の思いも感じ取れるようにしている。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・日々の業務で感じた事や対応などについて話すことはあっても、次につなげるような形のミーティングができていない部分がある。特に利用前のミーティングが不足しているために、対応が後手後手に回ってしまっている面がある。
- ・本人の思いと家族の要望、考えが一致していない時、つい家族の要望や意向を優先してしまうことが多かった。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・初期の支援がいかに重要であるか、職員全員が再度認識するために、利用後 1 カ月を目安に初期ミーティングという形のものを行ない、本人の思いや利用後の情報や対応について意見交換を行ない、支援のあり方について職員全員で共有する。初期ミーティングについては記録に残し、以後の支援・対応につなげていく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 14 日 (15 : 00～16 : 00)

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?		4	6	1	11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	1	6	2	2	11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?		6	3	2	11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?		1	6	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・ケアプランを確認し、本人のありたい姿や目標を把握できるようにしている。また、それに沿った対応を行なうように心がけるようにしている。 ・日々、意識的に関わり会話の機会を持つことで本人の思いを聞いたり、引き出すことができたりしたことがあった。 ・利用者の「～したい」支援を実現できたことが職員の喜びにつながった。次への意欲になった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・連絡ノートでの周知や口頭でも報告的な形が多く、ミーティングでの意見交換が少なく、個々での対応やその場での対応で終わってしまっており、職員全体の共有や次への対応につながっていない。 ・自分で訴えない、訴えられない利用者の思いを引き出すことが難しく、本人の思いに沿った対応ができていないことも考えられる。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・今年度、センター方式の研修に行った職員から、センター方式の研修を行なってもらう。研修の最後に全職員共通で 1 人の利用者 (なかなか思いを伝えられない方) を選定。各自が業務や関わりを通じてシートを記入していき、2 回目の研修で持ち寄り意見交換を行ない、自己実現の尊重について理解を深める。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 24 日 (15 : 00～16 : 00)

3. 日常生活の支援

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が 10 個以上把握できていますか?			7	4	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	1	9	1		11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?			7	4	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?		9	2		11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?		5	6		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 普段の状態、状況だけでなく、体調不良やその時の気持ちなどその時々に応じて、食事の形態を変更したり、入浴時間をずらしたりなどの対応を行なうことができた。・ ケアやコミュニケーションを通して気付いた変化や思いを記録したり、申し送ることで、その人のその時にあった支援につなげることができた。・ 利用時に併設の特養グループホームへ行き、友人、知り合いとの関係性の継続支援を行なった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・ 利用前の情報が不足している。既往歴などはわかっても、以前の暮らしの情報が不足している。また利用者によって、得ている情報に差があるために、以前の暮らしを踏まえた対応につなげていない利用者もいる。・ 自ら気持ちを訴えたり、コミュニケーションの機会が多い利用者、なかなか自分で思いを伝えられない利用者で気持ちに沿った支援で差がついてしまっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・ 利用者個々の以前の暮らし方を把握、共有するために、アセスメントシート※センター方式 B-3 暮らしの情報 (私の暮らし方シート) を利用者全員分作成し、個人ファイルにつづり支援の参考とする。シート作成は利用者ごとに担当制とし、他職員の送迎や訪問時の情報も参考にしながら作成する。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 11 月 26 日 (15 : 00 ~ 16 : 00)

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 6 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画

前回の改善計画に対する取組み結果

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?		4	4	3	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	1	5	4	1	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?		4	4	3	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?		1	4	6	11

できている点 200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること

- ・利用者とのコミュニケーションなどの関わりを通じて、生活スタイルや人間関係、家での過ごし方の理解を少しずつ深めることができている。特に訪問利用の利用者に関しては、日々の暮らしを意識することができている。
- ・家族とは送迎などで接する時間を利用して、本人だけでなく家族支援の視点から関わりをもつようにしている。何気ない会話からでも得られることがある。
- ・近くの道の駅でのイベントや近隣施設の文化祭の参加で馴染みの人と会うことができた。

できていない点 200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること

- ・地域密着でありながら、地域とのつながりがまだ薄く、事業所支援で終始してしまっている。
- ・訪問が行なえていない利用者は、特に日頃の暮らしが見えてこないため、その人本人のことを深く知り、考えることができていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

- ・地域の人と共に利用者を支えることができるように、地域行事や散歩などの外出に積極的に参加したり、近隣施設に利用者作品を出展するなど、事業所をもっとよく知ってもらえるようにアピールする。また、行なった活動については評価を行ない、次の活動につなげるようにする。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 1 日 (15 : 00~16 : 00)

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 7名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		1	8	2	11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	1	9	1		11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができますか?	1	3	3	4	11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?		8	2	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・本人の変化など気付いたことは記録したり、申し送りをしたりして、体調やその時の状況に応じた支援ができるようにしている。急な泊まりや通い時間の延長、食事提供など柔軟に対応することができた。・事業所からの提案だけでなく、利用者からの希望や要望をくみ取りサービス提供を行なうことができた。・近隣の店から移動販売に来ていただいたり、理容組合から定期的に散髪に来ていただいている。普段あまり買物に行く機会がなかったり、床屋に行けないかたに喜んでいただくことができた。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・事業所完結のサービス提供になってしまっている。地域資源、地域の強みや弱みなど勉強不足で地域のことがわかっていない。・本人の良いところに目が届かず、どうしても悪い変化、問題点に注目してしまいがちになってしまっている。そのため、対応も良い面を延ばすことでなく、問題点をなくしていく面に偏ったものになっている。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・まずは地域の理解を深めるために、手作りの栃尾地域マップを作成する。送迎や訪問で気付いたり、外出などで撮った写真を貼ったり、研修や地域の人に教えてもらった地域資源を貼り付けたり記入していき、地図の完成を目指していく。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 1 日 (15 : 00~16 : 00)

6. 連携・協働

メンバー 7 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	1	6	3	1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?		1	2	8	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		2	3	6	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?		3	3	5	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・(管理者、計画作成者など一部の職員になっているが) サービス担当者会議で、訪問看護や福祉用具業者と話しあいが行なわれている。・地域で行なわれた消防団の訓練の見学に行ったり、地域園児の訪問、ボランティアの慰問が行なわれた。・地域と防災応援協定を結び、連携体制を整えることができた。・利用時 (泊まり時) 近隣の知り合いや友人の面会があった。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・事業所からの発信が不足しているため、イベントや活動以外で普段地域の住民が訪れることが少ない。・事業所から積極的に地域のことを知ろうとする意欲が低い傾向があるため、受身の姿勢になっている。積極的な連携、協働に至っていない。・他サービス機関との連携は会議録をみても、実際参加している職員が限られているため実感がわからない。・医療機関との連携が不十分。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・事業説明や活動内容、行事など広報的なチラシを作成し、地域回覧を行なう。・ホームページのブログを約 1 週間に 1 回の間隔で更新する。特定の職員だけでの作業にならないように期間での交代制をとり、多くの職員から発信の機会を持ってもらう事で、積極的な姿勢をとれるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 5 日 (19 : 15~20 : 45)

7. 運営

メンバー 8 名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?		3	3	5	11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?		5	1	5	11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?		4	3	4	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		1	6	4	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
・利用者、家族からの意見、苦情はきちんと受け止めるようにしており、ケースによっては利用者宅へ伺い話を聞き、対応変更を行なうことができた。 ・まだ開所からあまり経過しておらず回数は少ないが、運営推進会議にて運営について色々と意見を伺うことができている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
・運営推進会議の出席は、現在管理者に限られているので、他の職員にとって身近なものでなく、会議録を回覧することはできてもどこか他人事のようになっている。 ・地域の実情や考えがわかっていないため、地域協働が受け身になってしまっており、事業所からの発信につながっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
・運営推進会議に管理者だけでなく、他スタッフも出席させていただく。(業務との兼ね合いもあるため、途中退席などになることも考えられるが、その際はその旨を事前に了承していただき出席する。) 運営推進会議に出席することにより、職員個々が運営について考える機会を作る。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 5 日 (19 : 15~20 : 45)

8. 質を向上するための取組み

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか		6	3	2	11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか		2	6	3	11
③	地域連絡会に参加していますか			1	10	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか		6	4	1	11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・知識の向上や業務に活かせるように、法人の研修にはなるべく出席するようにしている。(全職員ではなく、意識に差はあるが)・リスクマネジメントは事故報告書で検討を行ない、同じような事故が起きないように努めている。	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none">・職場外研修は全職員への周知が足りていないため、施設や管理者からの決定や依頼での形になっている。参加実績自体が少なく、また参加も一部の職員のみになっており、幅広い立場での職場外研修に至っておらず、全体の質の向上につながっていない。	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none">・事故報告書での検討は事故単体への取り組みに終わってしまいがちなため、発生種別や発生場所、発生時刻などに分別したシートを作成し、事業所全体の事故の傾向を把握し、事故防止につなげていく。・職場外研修の案内ファイルを作成し、全職員が回覧、確認できるようにする。参加希望があった時は、業務の調整を行ない、できるだけ参加できるようにする。	

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 27 年 12 月 5 日 (19 : 15~20 : 45)

9. 人権・プライバシー

メンバー 8名

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	身体拘束をしていない	8	3			11
②	虐待は行われていない	11				11
③	プライバシーが守られている	4	4	3		11
④	必要な方に成年後見制度を活用している		3		8	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	2	8	1		11

できている点	200 字程度で、できていることと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・こまめに見守りや訪室を行なうことで、拘束せずに転倒等のリスクを回避することができた。 ・排泄や入浴において、他者へのプライバシーの配慮はもちろん、可能な時は同姓介助を行なうなど、できる範囲での対応ができた。 ・身体拘束、虐待の研修に参加し、理解を深めることができた。また、研修を通じ普段の自分の業務を振り返ることができた。 	

できていない点	200 字以内で、できていないことと、その理由を記入すること
<ul style="list-style-type: none"> ・明らかな身体拘束は行なっていないが、「ちょっとそこで待っていて下さい。」など言葉での拘束になってしまっていたと思われる。 ・記録の途中で呼ばれると、その場に置きっぱなしで行ってしまったことが多かった。 ・利用者に聞こえてしまうような声の大きさ、距離で職員同士対応についてなどの話をしてしまうことがあった。 	

次回までの具体的な改善計画	(200 字以内)
<ul style="list-style-type: none"> ・職員全員でマニュアルを再度確認する機会を設ける。マニュアルの再確認後、小規模でわかりやすく皆が意識して取り組める目標を立て、小規模フロア内に掲示して日々の業務での意識付けを行なう。 	